

夏本番、水遊び、プールを楽しんでします

7月は冷夏・長雨が続きました。梅雨空の下でも雨さえなければ水遊びを楽しんでいた子どもたち。プールの前は幸か不幸か地面なので、そらの子どもたちが川づくりを始めると、それにあこがれた、たんぼぼの子どもたちがそこに加わって遊んでいる姿も見られ、なかなか微笑ましい光景でした。

夏まつりへの参加ありがとうございました。

父母の皆さんと初めて取り組んだ手作りの夏祭り。実行委員を担当してくださった方々、子どもたちのために、そしてのかぜ保育園のために力を発揮していただき、本当にありがとうございました。遊びコーナーやワークショップ、かき氷、流しゼリー、そして盆踊りと子どもたちはワクワク楽しんでくれたかと思っています。



「へいわってすてきだね」

という絵本があります。この本は沖縄の小学1年生の6歳の安里君が書いた詩に絵本作家の長谷川義史さんが安里君の「このへいわがずっとつづいてほしい」という願いに絵を添えたものです。

「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。

おともだちとなかよし。かぞくがげんき。

えがおであそぶ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。

やぎがのんびりあるいてる。

けんかしてもすぐなかなおり。

ちょうめいそう（長命草）がたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。

みなとには、フェリーがとまっていて、

うみには、かめやかじきがおよいでいる。

やさしいところがにじになる。

へいわっていいね。へいわってうれしいね。

みんなのころから、へいわがうまれるんだね。」（以下、略）

絵本のあとがきには「いかなる理由があるにせよ、人を殺し、傷つけることは間違いです。そのごく当たり前のことを一人の少年が僕たちに教えてくれたのです。」とあります。

近年戦争体験を語り継ぐ人たちが高齢化し、戦争をイメージすることがだんだんと難しくなってきました。しかし、次の世代を生きる子どもたちに戦争の悲惨さを伝えていくことが大切だと思っています。

先日、「平和コンサート」ですみれ・そらの子どもたちにこの本を読み聞かせと、「ぞうれっしゃ」の物語をスライドを使って話しました。2、3歳児さんたちには難しいかなと思いましたが、みんなしっかり聞いていました。



あいち保育共同連合会名古屋市懇談が9月5日（木）にあります

子どもたちの健やかな発達を保障し、保護者が安心して働き生活できるよう、そして職員の処遇改善がされることを目的に名古屋市保育企画室との話し合いを持ちます。

今年度、のかぜ保育園は職員の配置基準の充実を求める個所を担当し要望書を作成してきました。ここは、父母の様々な保育要求を名古屋市に伝える場です。保護者の方の生の声を伝え、みんなの切実な願いが市政に反映できるよう、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

